

医学系大学様向け教員業績データベースのご紹介

－ 学内教員業績の自動収集・自動登録化 －

榊原 淳

株式会社 メディアフュージョン

文部科学省による大学の情報公開の義務化に伴い、各大学ではホームページを通じた教員や研究者のプロフィール（学位、職歴等）や研究業績を教員紹介、研究者総覧等により外部公開する仕組みを整備しています。

しかしながら、医科大学や医学系の学部の教員（研究者）による研究業績登録は、他の大学や学部と比較して非常に低い登録率にとどまっているという話をしばしば耳にします。この原因として、先生方が授業・研究・診療など非常に業務が多忙であること、また大学での定着率が高くないために頻繁に教員の出入りがあり、システムを管理する管理者もデータメンテナンスにかなり手を取られて、十分に業績の管理が出来ないことなどが挙げられています。

その一方で、医学系の教員（研究者）は非常に多くの論文の執筆や国際共著などを行っており、それらの業績が登録、把握されていない状態であることは折角の大学業績のアピールをする機会を失いかねません。

今回ご紹介する弊社システムの仕組みは、学内のシステムにおいて先生方が自身の業績を入力する形でなく、既に学外の学術情報データベースに登録されている業績を自動収集し、学内システムのポータル画面に業績リストとして表示されたものに間違いがないかをチェックボックスで選択するだけで、自動的に学内の教員業績データベースに登録されるものです。既に幾つかの大学には導入済みであり、ご活用いただいております。現状、Web APIを通じて業績データを取得できる学術情報データベースは、PubMed、医中誌、CiNii Articles、Web of Science、Scopus などがあり、インパクトファクター、サイテーションの取込みデータを教員の業績評価の基礎数値としてご活用される大学もあります。

このように、学内の登録業績データが充実することにより、業績集出力や研究業績分析など、データの二次利用が可能となります。さらにはシーズサイトなどへ転用することもできます。これまで別々のデータソースから作成されていたものが、一つのデータベースからのデータ連携で作成可能となります。

また、科学技術振興機構（JST）の researchmap とのデータ連携（researchmap からの取込みと researchmap への登録）機能も提供していますので、先生方個人の業績アピールあるいはコミュニティ活動を促進する事が出来ます。

このシステムは、導入大学や研究機関とのお取引のから現場の声を伺いながら改良を続けているものであり、導入された国公立の総合大学および医科系大学などにおいてご好評を頂いているものです。パッケージシステムとして、短期間・低コストで導入を実現することが出来ます。併設のデモ、展示等もご覧の上、ご検討頂けると幸甚です。